

発泡スチロール球で分子模型を作ろう

2015. 1. 28 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

1月7日～9日に、ガトーキングダムサッポロで行われた北海道たのしい授業講座で分子模型作りを担当しました。今回は10席用意して、結晶模型作りも行いました。昨年よりたくさんの方に参加していただきました。

○1日目

1月7日は雪が多く、会場にたどり着くまでが大変でした。でも、その悪天候の中、100名以上の”たのしい授業講座”の参加者がガトーキングダムサッポロに集まってくれました。

ボクは今年も分子模型作りを担当しました。1日目は《結晶》の講座を担当したので、講座が始まる前に分子模型作りのコーナーの準備を済ませました。それが初めて分子模型作りを見た人にも良い印象を与えたのか、昨年よりもたくさんの人に分子模型を作ってもらいました。



○2日目

例年は、家から1時間くらいの場所なのと、最近では、夜遅くまで分子模型を作る人がいなくなったので、通いでたのしい授業講座に参加していました。でも、今年は直前の1月6日まで、佐賀県の唐津市で行われていた仮説実験授業研究会の冬の大会に参加していたので、きっと疲れているだろうと予測し、宿泊でたのしい授業講座に参加しました。早朝に起きずに、しかもしっかり朝ご飯も食べることができ、宿泊を選んで正解でした。

2日目の1月8日は、午前中に《水分子の冒険》を担当しました。サイフォンの話がちょっとひっかかりましたが、みなさん喜んで受けてくれたので、良かったです。《水分子の冒険》では水の分子模型の鎖を使います。今回、参加してくれた人には水の分子模型の鎖を作ってもらおうと考え、釣りのテグスと太くて長い針を用意し、20～30個の水分子の鎖を作ってもらいました。



